

北条鉄道活性化について

一般質問



松尾 幸宏 議員
(自民の風・誠真会)

問 今年、播州鉄道北条支線開業 100 周年、北条鉄道株式会社開業 30 周年の節目を迎えるが、記念行事の状況について。

答 3月3日には、播州鉄道北条支線の開通 100 周年記念式典と記念列車として車内ライブが楽しめる「ひなまつり号」を 2 往復運行し、約 200 名の参加者に祝っていただきました。また、3 月末日から一週間程度、アステアかさいにおいて、100 年の歩みを市内外の方から資料提供

いただいた写真等で展示紹介します。期間中の 4 月 5 日には、記念式典及び講演会（アステアかさい）その後、さくらまつり（播磨横田駅）を行います。記念イベントにふさわしくアトラクションの時間を延ばし、より多くの方々に参加していただけるように努める予定です。

また、秋の鉄道祭りをはじめとした各イベントについても、より多くの方々に参加いただけるよう工夫し、北条鉄道と支えてきた市民の方々の思いを伝える機会にしたいと考えております。

問 広報かさいに、利用促進キャンペーンの片道無料優待券が掲載（3 カ月に 1 回）されているが、優待券を切り取ると裏面の記事が一部削除されてしまう。そうであれば、優待券の裏面に利用者の性別・年齢・町名等を記入い

ただき、参考にしてはとの声があるが、いかがか。

答 優待券は平成 24 年 10 月より開始し、当初 1 年間は 3 カ月で 800 人程度の利用でしたが、回を重ねるごとに認知度が高まり、26 年度はそれぞれ 3 カ月の期間で約 1,100 人の方にご利用いただいています。また、使用後に掲載記事が損なわれる点については、現在、記事の内容を勘案した上でのレイアウトに努めており、構成の問題点等もあるため、今後検討させていただきたいと思

要望 下里地区にコミバスを！

■その他の質問項目

- ・ベルデ下里販売状況について
- ・公共交通について

ふるさと納税について

一般質問



長田 謙一 議員
(21 政会)

問 ふるさと納税において、特典目当ての場合に最低額の寄附となるが、件数が増加につれ発送経費が増加すると、費用対効果が悪化する。損得で競争すれば限界が来るのではないか。

答 各自治体がふるさと納税に対する返礼・特典の充実を図ってきたことも要因です。行き過ぎた特典競争は、本来の納税という税制度の目的を失い、自治体の事務負担の増加や財政へも影響を与え、地域間格差の拡大とい

う問題が起きます。現在、税制改革の議論において、住民税における特例控除の限度額を 1 割から 2 割に拡大する中で、ふるさと納税制度の拡充により、ワンストップサービスでの確定申告対応をする考えです。国からは節度・良識ある対応を要請しています。指摘を踏まえ、本来の趣旨に立ち返り、魅力ある自治体競争という現実もあることから、運用方法の改善及び工夫すべきと考えており、他の自治体で活用されているクラウドファンディング型の寄附の方法にも注目し、地元製品の振興も検討しています。

問 寄附者に加西市のリピーターとなってもらいまちづくりの知恵と工夫について。

答 ふるさと納税の趣旨は、地方への財政・財源移転もあ

りますが、一方では魅力あふれるまちづくりを通じた地域活性化です。アピールできる内容を充実させ、全国の人にどれだけ関心を持っていただけるか、その手法としていかにふるさと納税を活用するかということだと思います。子育て支援の環境充実を含め、総合的な魅力あるまちづくり施策を充実させ、共感していただける寄附の集め方をし、ふるさと納税を加西市の魅力あふれるまちづくりに活用したいと考えています。

■その他の質問項目

- ・地域女性の活躍推進について
- ・中小企業の活性化につながる支援について
- ・県道大和北条停車場線拡幅工事について